

## 《25人の新入社員が配属されました》～地域の皆さまに信頼いただけるよう、しっかりと育ててまいります～

4月17日(月)、平成29年度の新入社員25人が、女川原子力発電所に配属されました。新入社員は研修を経て、発電所の一員として、日々の保安活動や安全対策等の業務に一生懸命取り組んでまいります。地域の皆さまに信頼いただけるよう、しっかりと育ててまいります。



### 宮城県出身の新入社員

分からないことばかりで、学びの多い日々を過ごしております。早く先輩方の背中に追いつけるよう、精一杯努めます。

何事にも全力で取り組み、地域の皆さまに早く貢献できるように、一日一日を大切に頑張ります。

早く一人前になり、東北地方在住の方々に貢献できるように精一杯努力します。



発電部 発電管理グループ  
阿部 千夏(仙台市出身)



発電部 発電管理グループ  
田畑 佑樹(仙台市出身)



発電部 発電管理グループ  
柏 了太郎(加美町出身)

## 《ローズガーデンフェアを開催します》

6月1日(木)から30日(金)まで、女川原子力PRセンターにおいて「ローズガーデンフェア」を開催します。センター内の「スイートガーデン」には、県内でも有数の約70種類ものバラが植えられており、「しあわせのバラのトンネル」など見事な花を咲かせます。

期間中は、バラを背景に撮影した写真のプレゼントやミニバラを使った寄せ植え教室、バラいっぱいフラワーアレンジメント教室を開催します。

また、今年3月には2階の展示をリニューアルし、小さなお子様連れでも安心して楽しめるコーナーを用意しておりますので、ぜひ女川原子力PRセンターへ足をお運びください。



まだまだ力不足だと思いますので、若さを活かして、毎日フレッシュに頑張ります。

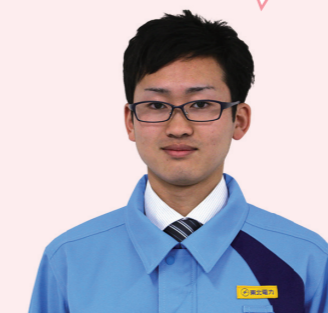
「計画、実施、評価、改善」を大切に、再稼働に向けて仲間と共にチームワークでチャレンジします。

生まれ育った東北地方や、その地域の方々に恩返しができるよう、精一杯取り組みます。

新入社員らしく、明るく元気をモットーに、生まれ育った東北に恩返しができるように頑張ります。



発電部 発電管理グループ  
尾形 洵州(大崎市出身)



発電部 発電管理グループ  
高橋 拓(富谷市出身)



土木建築部 建築グループ  
鶴田 涼介(仙台市出身)



土木建築部 建築グループ  
首藤 悠太(仙台市出身)



## 《交通安全活動を実施しました》

4月12日(水)、当発電所および構内協力企業各社では、春の全国交通安全運動にあわせ、安全運転に関する意識の向上を目的とした交通安全活動を実施しました。

当日は出勤時間帯にあわせ、発電所周辺道路にて交通安全メッセージが書かれたのぼり旗を掲げ、往来する車両に安全運転を呼び掛けました。

当発電所では、これまでも月4回程度、こうした交通安全活動を行っておりますが、今後も継続して実施し、交通安全に努めてまいります。



## 《道路美化活動を実施しました》

4月25日(火)、当発電所および構内協力企業各社の参加のもと道路美化活動を実施しました。

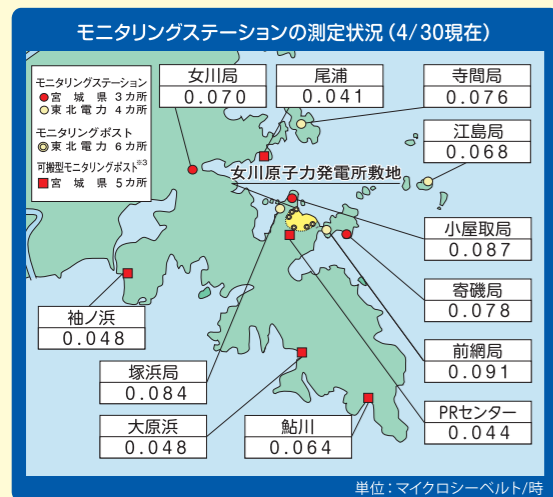
当日はコバルトラインの小積インターチェンジから表浜方面の道路において、約100名が参加し、空き缶や空き瓶、紙くすなどを拾い、きれいな町づくりの大切さを実感しました。今後も継続して実施し、発電所周辺道路の美化に努めてまいります。



## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線量はモニタリングポスト\*1やモニタリングステーション\*2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.058マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考) モニタリングポストの最小値と最大値

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉 平成23年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉 平成23年3月13日	1.8~21*4
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	
平成24年4月1日	0.063~0.098
平成25年4月1日	0.055~0.076
平成26年4月1日	0.046~0.065
平成27年4月1日	0.043~0.077
平成28年4月1日	0.041~0.061
平成29年4月1日	0.038~0.059
平成29年4月30日	0.039~0.058

単位: マイクロシーベルト/時

- \*1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、毎年度(4月1日)の値、至近の値を掲載しています。
- \*2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- \*3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- \*4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

## 《敷地の地形、地質・地質構造について》

女川2号機の適合性審査では、敷地の地形、地質・地質構造について審議されています。

(平成29年3月24日)

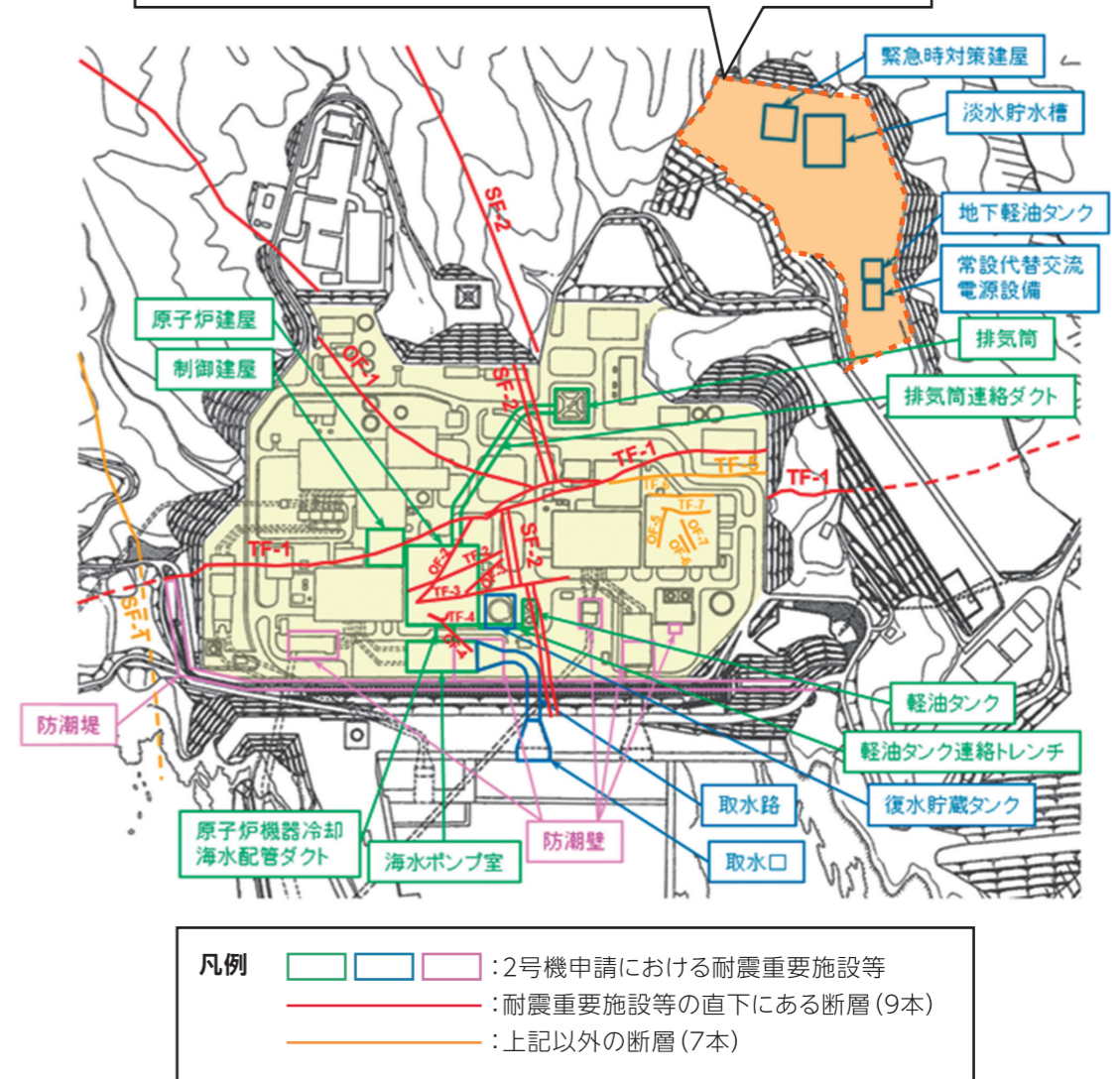
前回の審査会合(平成28年11月18日)におけるコメントを踏まえ、断層破碎部\*にある鉱物の観察範囲を拡大するなど、断層の活動性についてより詳細に検討した結果を示し、発電所の敷地内にある16本の断層に活動性がないことを説明しました。

本審査項目について、原子力規制委員会からは、概ね妥当な検討がなされていると評価されました。

なお、原子力規制委員会より、高台に建設予定の緊急時対策建屋等の施設周辺に分布している小断層に関し、形成過程等の説明を求められたことから、今後の審査において説明してまいります。

\*: ずれの生じた断層面に沿ってできている岩石が破碎された部分。角れき状岩石、粘土などから成る。

今回(3/24)コメントされた小断層の形成過程の説明範囲



審査会合の詳細は当社ホームページをご覧ください。

東北電力 女川審査会合

検索